

2021年1月12日

報道関係各位

牛の肺炎治療用注射剤「フロルガン」新発売に関するお知らせ

Meiji Seika ファルマ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小林大吉郎、以下 Meiji）は本日、牛の肺炎治療用注射剤「フロルガン」を発売しましたのでお知らせします。

「フロルガン」は、フロルフェニコールを有効成分とする注射用抗菌剤です。同剤は有効菌種としてパスツレラ・マルトシダ、マンヘミア・ヘモリチカに加え、フロルフェニコール製剤として国内では初めてマイコプラズマ・ボビス、ウレアプラズマ・ディバーサムおよびヒストフィルス・ソムニに対しても適応を取得している第一次選択薬です。複合感染した細菌性肺炎を対象に国内で実施した臨床試験において、同剤投与群は対照薬剤投与群に対し、有意に高い有効率を示しました（社内資料）。

また、「フロルガン」は有効成分であるフロルフェニコールの抗菌特性を生かした徐放性製剤であり、1治療1回投与のワンショット製剤であるため、牛への負担軽減と投与および投与に伴う保定など作業の省力化が可能な製剤です。

Meiji Seika ファルマは、動物の健康を守ることを通じて、安全・安心な畜水産物の安定供給と生産性向上に寄与し、畜水産業のさらなる発展に貢献してまいります。

- 【製品名】 フロルガン
- 【成分及び分量】 本品 1mL 中 フロルフェニコールを 300mg 含有
- 【効能又は効果】 **有効菌種：**
本剤感受性のパスツレラ・マルトシダ、マンヘミア・ヘモリチカ、ヒストフィルス・ソムニ、マイコプラズマ・ボビス、ウレアプラズマ・ディバーサム
- 適応症：**
牛(搾乳牛を除く)の細菌性肺炎
- 【用法及び用量】 体重 1kg 当たり、フロルフェニコールとして下記の量を 1 回
頸部筋肉内に注射する。
牛(搾乳牛を除く。):30mg
- 【包装】 100mL



以上



Meiji Seika ファルマ株式会社の動物薬事業について

Meiji Seika ファルマ株式会社の動物薬事業は、1955年の動物用ペニシリン飼料添加剤「メイリッチ P」発売から参入し、60年以上にわたり動物の健康を守ることを通じて、安全・安心な畜水産物の安定供給と生産向上に寄与し、畜水産業の更なる発展に貢献しています。またコンパニオンアニマルの健康及びQOL向上にも貢献しています。

詳細は <https://www.meiji-seika-pharma.co.jp/animalhealth/index.html> をご覧ください。